

無機質系高弾性コンクリート保護塗膜 (アルカリ骨材反応抑止用)

レックスコート2000N

(旧)阪神高速道路公団『ASR F種 撥水系』適合品

レックスコート2000Nとは...

レックスコート2000Nは、優れた撥水作用を持つシラン系高含浸性塗布材と無機質系高弾性被覆材を塗布することにより、外部からの雨水等の侵入を防ぐ防水性とコンクリート内部の水分を放出できる透湿性を合わせ持つコンクリート保護塗装材です。

従ってこれらの機能により、アルカリ骨材反応の抑止に優れた効果を発揮します。また遮塩性も合わせ持つため、海岸地区の塩害抑止にも優れた効果を示します。

レックスコート2000Nの特長

- 1.撥水性と透湿性を併せ持つことにより、コンクリート内部の水を逸散させアルカリ骨材反応を抑制します。
- 2.高いひび割れ追従性能を有し、万一コンクリートにひび割れが生じた場合でもコンクリート保護機能は損なわれません。
- 3.外部からの水、酸素、コンクリート有害因子(塩化物、炭酸ガス)を遮断します。
- 4.塗膜は無機系材料が主成分であるため、紫外線劣化が少なく耐久性に優れます。

レックスコート2000Nの用途

- 1.コンクリート構造物の一般的なひび割れ補修
- 2.コンクリート構造物におけるアルカリ骨材反応の抑制
- 3.鉄筋コンクリート構造物の塩害による劣化抑制
- 4.コンクリート構造物の炭酸化、中性化の抑制

施工上の注意

- 暑中、寒中の施工においては、十分な養生下の元、施工してください。
- 5℃以下での施工及び養生は避けて下さい。
- 一度凍結した材料は絶対に使用しないで下さい。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。



荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

レックスコート2000Nの構成材料

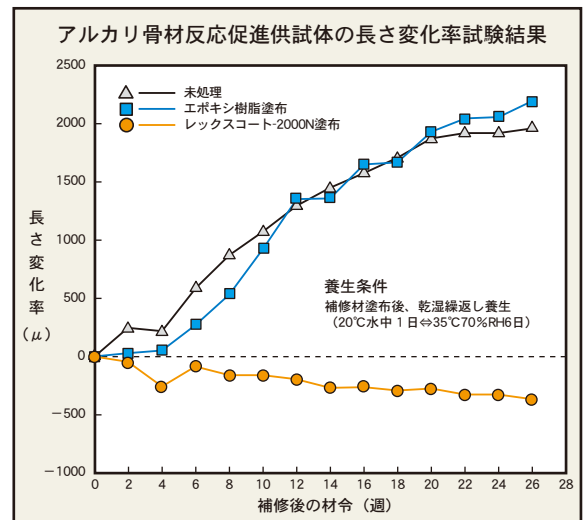
製品名	荷姿	用途	※準備数量(m ² 当たり)
リフレバセットA	15kg缶	シラン系撥水剤	0.04kg
リフレベースパテ	18.5kg缶	パテ材	0.5kg以上
リフレベースPN	15kg袋	中塗り材主材	0.545kg
リフレベースEN	18kg缶	中塗り材混和材	0.655kg
リフレトップカラーSi	16kg缶	上塗り材	0.16kg

※ロスが含まれておりません。

(詳細な取扱いなどについては製品安全データシートを参照願います)

レックスコート2000N試験結果の一例

レックスコート2000Nを塗布した場合、コンクリートの膨張が抑制され、アルカリ骨材反応が抑止されていることを示しています。



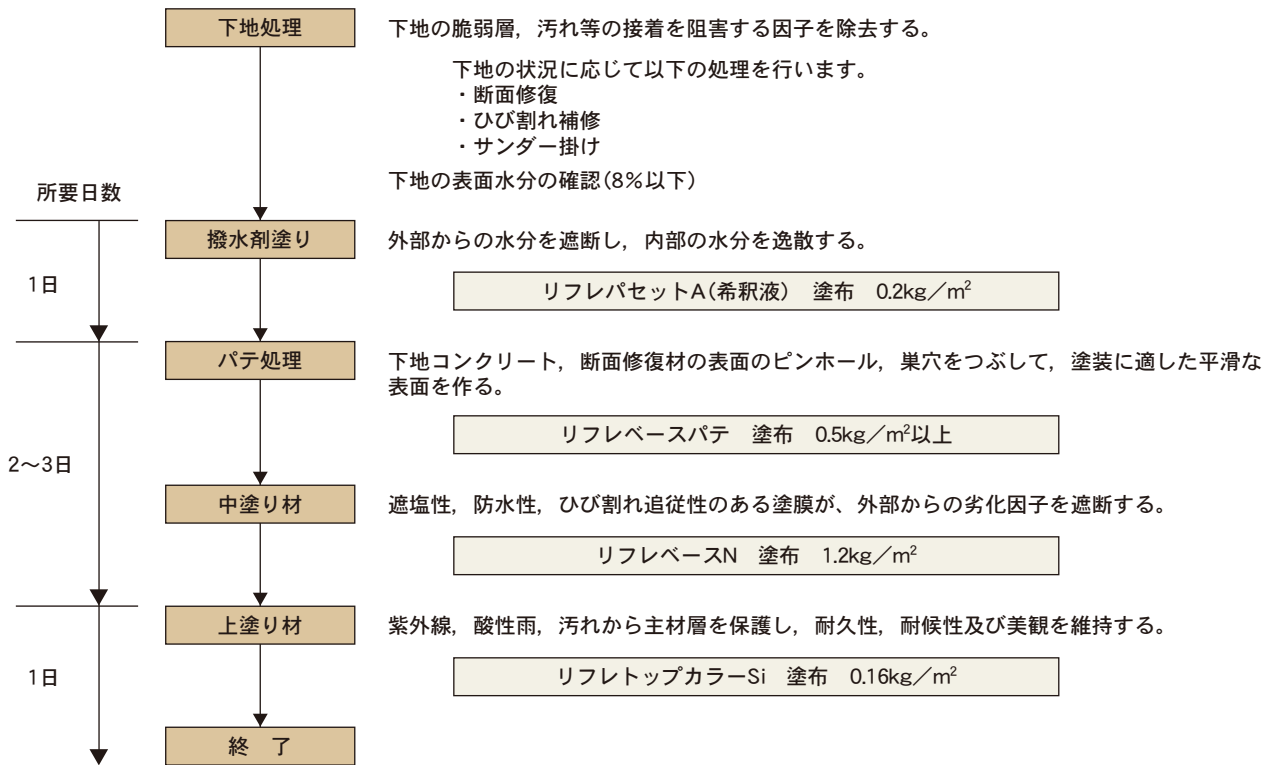
性能の種類	阪神高速道路公団 ASR F種 撥水系 品質基準	レックスコート2000N実測値
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に30日間浸漬しても、外觀変化、あるいは塗膜にふくれ・われ・はがれ・軟化・溶出のないこと。	良
一体性	気中	0.3 N/mm ² 以上
	半水中	0.3 N/mm ² 以上
	水中	0.3 N/mm ² 以上
非吸水性	脚	3.5 g/m ² ・日以下
	高欄	3.1 g/m ² ・日
透湿性	15 g/m ² ・日以上	105 g/m ² ・日
ひび割れ追従性	0.7 mm以上	3.0 mm
耐候性	促進耐候性試験を300時間行った後、白亜化はほとんどなく、塗膜にわれ・はがれのないこと。	良

レックスコート2000Nは、(旧)阪神高速道路公団『ASR F種 撥水系』に適合します。
※ 上記は、社内実験室での測定値であり、品質保証値ではありません。

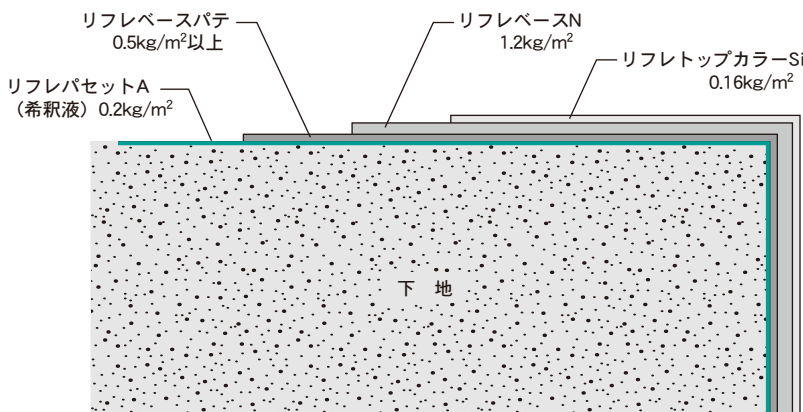
レックスコート2000N 標準塗装仕様

一般名称	塗装材の名称	使用材料 及び 配合割合	塗布量	塗布回数	使用器具	次工程までの間隔
撥水剤	リフレバセットA	リフレバセットA 15kg : 水 60kg	0.2kg/m ²	1	ローラー	16時間
パテ処理	リフレベースパテ	パテ主材 13.5kg : 混和材 5kg	0.5kg/m ² 以上	1~2	コテ ヘラ	2時間
中塗り材	リフレベースN	リフレベースPN 15kg : リフレベースEN 18kg	1.2kg/m ²	2	リシンガン ローラー	塗り重ね : 2時間 上塗材 : 16時間
上塗り材	リフレトップカラーSi	原 液	0.16kg/m ²	1~2	ローラー	2時間

レックスコート2000N 工程及び機能, 目的



標準施工図



施工例



使用および取扱いの前に, 当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については, 予告無しに変更する場合がありますので, 予め御承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京	〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)	電話 03(6370)2721	Fax 03(6370)2759
大阪	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
名古屋	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)	電話 011(241)3901	Fax 011(221)1017
東北支店	〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
四国支店	〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)	電話 082(577)7645	Fax 082(577)7646
福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は